

広報としま 3



令和 6 年 3 月発行 Toshima Village Public Relation 2024.3 No.268

フェリーとしま 2 の代わりに運航して
いただいた「あおがしま丸」

詳細は 9p ～



卒業生をご紹介します!!

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます!!

鬼塚 菜月（口之島） 小学6年生



小学校6年間で一番楽しかったことは1泊2日の修学旅行です。熊本のグリーンランドでは、友達と一緒に色んな乗り物に乗ったり、お店でおそろいのキーホルダーを買ったりしました。みんなと修学旅行に行けてよかったです。中学校での目標は、小学生のお手本になるような中学生になることです。

久保田 ここな（口之島） 中学3年生



私は口之島での1年間、勉強や部活動・学校行事、そして地域の方々との交流を通し、愛知ではできないことをたくさん経験しました。そのおかげで、私自身大きく成長し、変わることができました。そんな私は、色々な人に助けられ、感謝でいっぱいです。高校では口之島で学んだことを生かし、さらにいろんなことを学んでいきたいです。

小原澤 洸己（中之島） 小学6年生



僕が、小学校を卒業したら、少しでもコンピューターなどの勉強をしたいです。なぜなら、僕の将来の夢がゲーム実況者だからです。ゲーム実況者になった時に視聴者を元気にしたり、喜ばせたいです。なので、今後はゲーム実況者だからといって、ゲームだけするのではなく、実況者になるための勉強や機材を使えるようになります。また、島立ちして1人になっても、これから困らないように家事や料理ができるようになります。

久木山 希海（中之島） 小学6年生



私が中之島に来て、3年半がたちます。この3年間でたくさんの人にお世話になりました。私は、中之島のみなさんのおかげでたくさん成長できました。後期課程生になったら、苦手なことを得意にしたり、いろんなことにチャレンジしていきたいです。

立石 華蓮（口之島） 小学6年生



私は、3年生の3学期に口之島に来ました。初めて口之島に来た時は、不安と緊張でいっぱいでした。でも、そんなときに島民の方や学校みんなが話しかけてくれて、とても安心したのを覚えています。3年生から6年生まで、色々な方々にお世話になり、さまざまなことを教えていただきました。そこからたくさんのことを学び、生かすことができました。中学生になったら、人に気遣いができ、小学生から頼られる存在になりたいです。

小原澤 稔理（中之島） 中学3年生



9年間、とてもお世話になりました。中之島の生活で一番心に残っていることは、たくさんの地域の人から、私たち家族に魚や、バナナ、ミカンなどをいただいたことです。いつも笑顔で話しかけてくださり、とても嬉しかったです。学校生活では、一番心に残っていることは、運動会の応援演舞です。今年は中学生が4人しかいませんでしたが、お父さんや、弟たちの力も借りて、とても迫力の演舞にすることができました。先生たちには丁寧に勉強を教えてください、感謝しています。お父さん、お母さんは、毎日おいしいご飯をつくってくれました。そのおかげで元気に成長することができました。私は将来大工を目指しています。そのため、高校ではたくさん資格をとって頼られる大人になりたいです。皆さんもお元気でいてください。

令和5年度卒業式を挙行了しました!!

春の訪れを感じ始めた3月。夢と希望に満ち溢れた17名の児童が後期課程へと足を進め、16名の生徒が学び舎を巣立っていきました。

皆さんには無限の可能性があります。この学び舎での思い出とこれからの希望を胸に、何事も恐れず、ひるまず、夢に向かって羽ばたいてください。

前途洋々たる未来に、幸多きことをお祈りします。

令和5年度卒業式が各島で挙行されました。後期課程へ進級し大人への階段を上る人や、高校入学のため島を離れなければならない人もおり、それぞれの道を歩むこととなります。自分自身の夢に向かって頑張ってください。



悪石島



中之島



小宝島



諏訪之瀬島



宝島



平島

小和瀬 麦（平島） 中学3年生



私は小学4年生の時に十島村へきました。今まで通っていた学校と比べて60分の1ほどの全校生徒数に驚きながらも、マンツーマンの授業がとても楽しかったことを覚えています。

また、先生が1年間で代わってしまい不安なこともありましたが、今となってはもう楽しい思い出です。

時は替わって中学3年の夏休み、私はオーストラリアで短期留学をする機会を得ました。オーストラリアでは、緊張してしまい最初はあまりうまく話すことができませんでしたが、2日目からはうまく話すことができました。

このように十島村、平島でしかできなかったことを活かし、高校生活でも頑張っていこうと思います。

デスフィー 瑛登（平島） 中学3年生



私が平島で過ごすのは、今年で3年になる。ここにはお店などはないが平島にはそれこそ、伝統的な文化や雄大な自然がある。

中でも平島の海は島の人々に大きな恩恵を与えている。平島小中学校では、その海の恩恵を学習のために生かしている。例えば、水泳授業や穴釣りなどがある。

私たちは総合的な学習の時間を利用して、そこから島について学び、それを自分の力にするという活動を行っている。そこで得たことを、卒業後も自身の学びに繋げて大切にしていきたい。

中馬 隆博（平島） 中学3年生



僕は中学2年からの2年間で平島で過ごした。

今では、島に来たことをとてもよかったと思っているし、このような経験をさせてくれた両親にはとても感謝している。そしていまは卒業して平島を離れてしまうことにさびしさを感じている。

平島ではとても多くの学びを得ることができた。特に大事にしたいと思っていることは、「己に克つ」ということだ。この言葉は昨年度の担任教諭から教わり、今年度の自分の受験のスローガンとして掲げていた。受験が終わった後も「己に克つ」ということは大事だと思っているので、この言葉はこれからも僕のスローガンになる。

そして、卒業しても、平島で学んだことを生かしてこれから楽しんでいきたい。

小和瀬 栞（平島） 小学6年生



僕は、この平島小・中学校で、小学校生活6年間を過ごしました。

僕は、平島小・中学校で様々な行事を体験しました。

総合的な学習の時間で行う筍採りや穴釣り、平島の伝統行事の1つであるカセダウチなど、他にもたくさんの行事を体験しました。これほど貴重な行事を体験することができ、僕はたくさん成長することができました。

僕は小学校を卒業し、中学校に進学しますが、これからもたくさん成長していきたいです。

中村 啓輔（平島） 中学3年生



私が中学1年生から平島に来て、そろそろ3年が経つ。

最初、島に来たときには何もかもが新鮮で楽しく感じられた。前にいた中学校と違って人数が少なく驚きはしたものの、すぐにみんなと仲良くなった。

私は学校行事が好きだった。たとえば、たけのこ採りや穴釣り、人数の少ない運動会など。人数が少ないのでたくさんの競技にでられたので、とても楽しかった。

島ではいろんなことを経験することができた。それらをこれからの人生に活かしていきたい。

長谷川 右誠（平島） 中学3年生



私は中学3年生の1年間で平島で過ごしました。中学2年生までは、まさかこんなところで生活するとは想像もできませんでした。

この島に来て色々なことができるようになり、色々なことを学べました。この島での経験は近い将来、必ず役に立つと思います。

島に来た最初の頃はとても嫌ですごく家に帰りたかったですが、学校のみんなや寮のみんなと一緒に何かをすることで、平島での生活が少しだけ楽しいと思えるようになりました。今では、この島と離れるのが少し寂しいです。でも私はこの島に来てよかったです。

だから、この島に来させてくれた親にも感謝だし、楽しいと思わせてくれた友達や先生にも、寮監寮母さんにもみんなに感謝しています。

平島は楽しかったです。ここでの経験をこれからも活かしていきます。

今井 海瑠（諏訪之瀬島） 小学6年生



僕の将来の目標は、有名な大学に行くことです。

この島に来る前は勉強ができませんでした。しかし、ここに来たおかげで勉強ができるようになりました。進級しても下級生のいい先輩になりたいです。

そして、僕の思い出は一番の友達に出会えたことです。前の学校では悲しい思いをしたこともありましたが、その思いを消してくれた恩人です。

また、担任の渡邊先生、1年間ありがとうございました。別れるのはさみしいですが、教えていただいたことを生かし、これからも力いっぱい頑張ります。

最後に、島民のみなさん、僕たちのことをいつも見守り、励ましてくださってありがとうございました。

これからも頑張るので、応援よろしくお願いします。

浅野 杏樹（諏訪之瀬島） 中学3年生



私は、中学1年生から諏訪之瀬島で生活していました。3年間で特に印象に残った思い出を2つ紹介します。

まず1つ目は、1年生の文化祭です。小学生の時は人数が多く劇のセリフが少なかったのですが、ここでは人数が少なくセリフが多く、覚えるのが大変だったことが印象に残っています。

2つ目は、親の大切さを改めて感じたことです。寮では他の寮生がいるのでわがママを言ったり、家でのことを全部やらしてもらったりすることは恥ずかしいことなので、自分でできることは自分でやるようにしたりと心掛けていました。

おかげで家の手伝いを前よりはやるようになりました。島民の方から「成長したね」とよく言われるようになり、この島にきて良かったと思いました。

また来られたらいいなと思いました。

北山 帆泉（平島） 小学6年生



私は、6年間の小学校生活を2つの学校で過ごしました。6年生で平島に来て、不安な気持ちでいっぱいでしたが、みんなとても優しく、とても救われました。

だから、私も来年平島にくる子も、不安の気持ちにさせないように接していきたいと思います。

小学校で学んだことをバネにし、中学校でも頑張りたいです。今の中学生を見習って中学生になっても明るく、元気に楽しく学校生活を送れるようにしたいです。

森 貫太郎（諏訪之瀬島） 小学6年生



これまでを振り返って、僕は「あいさつ」の大切さを実感しました。

この島に来る前は、人見知りなところもあって、自分からあいさつをしたり、元気よくあいさつを返したりすることができていませんでした。

しかし、ここでは友達や先生だけでなく、島民のみなさんからも挨拶をしていただけます。

最初はあまりできませんでした。きちんとするようになって、毎日を笑顔で、楽しく過ごせることが増えました。だから、これからも、あいさつを忘れずに毎日することを目標に過ごします。

最後に、友達みんな、先生方、いつも支えてくれてありがとうございました。そして、島民のみなさん、温かく接してくださってありがとうございました。

楽しい1年間でした。

吉富 琥珀（諏訪之瀬島） 中学3年生



私は、生徒会長・部活動の部長・応援団長というリーダー職を努めました。

リーダー職を行う上で大切にしていたことは「先入観を捨てる」というものでした。例えば、私が山海留学したての中学1年生の頃、私はサッカーが面白くないものだと思い込んでいました。

なぜかという、小学校の頃は部活動で野球しかやっていなかったからです。しかし、今、サッカーは私の一番好きなスポーツです。

先入観を捨てることは新しい発見をすることにもつながりました。

リーダーはメンバーの意見を取り入れなければなりません。つまり、先入観にとらわれて意見をないがしろにしてしまうと新しい発見につながらず、リーダーとしてグループを成長させることができなくなってしまいます。これは、リーダー職だけに限らず、他のことにも応用が効くと思います。

このことは、諏訪之瀬島にきたからこそその経験です。

この経験を生かして、高校生活では、様々なことに挑戦し続け、人を幸せにできる人になりたいです。



戸崎 碧來（宝島） 小学6年生



私の一番の思い出は、授業でみんなと一緒に馬場に行ったことです。初めは、怖くてあまり近づくことができなかったけれど、なれてくると馬をさわれるようになりました。テリントンタッチというマッサージをしてあげると馬が落ち着くということも初めて知れたのでうれしかったです。

私は、今度中学生になります。授業についていけるように、春休みを使い、6年間の復習をして、中学校の学習に追いつきたいです。また、苦手な算数を克服できるように、目標をたて、その目標を達成できるようにしたいです。

竹内 楽花（宝島） 小学6年生



来年から、宝島小学校が、宝島学園に変わります。

6年間通っていた学校の名前がなくなってしまうのは、さみしいですが、来年から7年生としてみんなと宝島学園を盛り上げていきたいです。また、乗馬や楽器等の好きなことを、勉強と両立できるよう頑張りたいと思います。将来はツアーコンダクターやツアープランナー、ツアーガイドになって、生まれ育ったこの島に戻ってきたいです。島民のみなさん、お父さん、お母さん今までありがとうございました。

これからもよろしくお願いします

戸崎 碧彩（宝島） 小学6年生



私は、3年生のとき宝島にきました。初めての転校だったので、ものすごく緊張しました。しかし、最初の出迎え式でみんな笑顔で出迎えてくれ、緊張がほぐれました。

宝島での一番の思い出は、集合学習です。みんなで協力してカレーをつくったのが心に残っています。中学生になったら数学と理科、英語の勉強を特に頑張りたいです。この3つは私が苦手な教科なので、克服して得意にしたいです。

目標は打倒両親です!!

浜崎 花和（小宝島） 中学3年生



私は、この4月から小宝島にやってきました。最初は不安と緊張でいっぱいでした。面積が約1km²しかない小宝島で迷子になったこともありましたが、しかし私が困ったときに島民の方々や、先生、児童・生徒のみんな、寮監の星さん、寮母の琴予さんが助けてくださったので、とても嬉しかったです。

そして、この小宝島は、自然豊かです。緑が多く、海がきれいです。こんなにすてきな所がたくさんある小宝島を離れるのは、さびしいですが、ここで頂いた大切な縁や経験を忘れぬよう大切に次につなげていきたいと思っています。

1年間ありがとうございました。

有嶋 航（宝島） 小学6年生



僕は、今年の4月から母の転勤で宝島にきました。

この1年間で今までしたことのない経験をたくさんすることができました。このような経験をするのができたのは、島民の方々、先生方、友達のおかげです。本当にありがとうございました。

また、僕の将来の夢は旅客機のパイロットになることです。そのために中学校に入っても毎日小さな目標を立てて、勉強をがんばります。そして、部活もがんばって楽しい中学校生活を送りたいです。

松下 晏奈（宝島） 小学6年生



宝島小学校、最後の卒業生としてとてもほこらしいです。僕は、5年生の3学期に山海留学生として宝島にきました。最初は学年の途中でなじめるか不安でした。しかし、みんなとても優しく積極的に遊びに誘ってくれました。おかげで早くなじめました。

僕は、来年から7年生になります。後輩たちの良い見本になれるように頑張ります。

島 佑一（悪石島） 中学3年生



悪石島に山海留学生として生活し始めて、早1年と少しが経ちました。

最初は親元を離れて島で生活する事に不安がありましたが、島民の方々、先生方、素敵な仲間、そして一番そばで支えて下さった、悪石島の寮監さんのおかげで、すぐになじむことができました。

島に来る前は、将来の夢ややりたい職業等、進路が決まっていなかったのですが、悪石島での生活を通して、進路が決まりました。

悪石島に来て本当に良かったと思います。今まで支えて下さった方々、本当にありがとうございました。

西岡 笑門（悪石島） 中学3年生



私は島にきてもう3年がたっていました。始めは不安でしたが、今では同級生だけでなく、先生方や島民の方と笑い合い、最高の毎日を送ることができました。

今年からは、多くの先生方が変わり、受験もあって不安でいっぱいでした。知らない場所での初めての受験。沢山失敗し、周りの人にも沢山迷惑をかけてきました。

しかし、担任の先生の手厚いサポートのおかげにより、私の第一志望校に合格することができました。

親や先生方、寮監などには言葉では伝えきれないほどのありがたみを感じています。

私たちはもうすぐ卒業ですが、これからも笑顔の絶えない悪石島でいてほしいです。

岩下 和矢（小宝島） 中学3年生



私は今までずっと小宝島で生活しています。この3月に小宝島中学校を卒業し、島立ちして4月からは鹿児島市内での生活が始まります。小宝島では、辛いときや苦しいときには、島民の方々に励まされて前を向いてきました。しかし、これからは慣れない環境で生活しなければなりません。新生活に向け期待と不安でいっぱいです。

しかし、島民の方々の応援を思い出して、新天地での生活を明るく華やかなものにできるよう努力をしたいと思っています。

古里 樹（悪石島） 中学3年生



僕が、ここ悪石島に来たのは、中学1年生の頃の冬。当時は、悪石島で地震が多発しており、不安もあるなかで来島した。しかし、島民の方々は明るく対応して下さり、不安な気持ちが一瞬で期待に変化した。

島民の方々とサッカーをしたり、食事会をしたりと、とても楽しい毎日を過ごすことができた。しかし、そんな夢のような生活も中学校3年生で終わってしまった。なぜなら、模試やテストを通して、自分の志望校の合格点には全く届いておらず、焦る日々を過ごすことになった。しかし、島民の方々と友達、先生方のおかげで、徐々に点数も上がっていき、見事合格することができた。

この3年間を通して、僕は人間関係の形成能力を学んだり、学習習慣の定着を学んだり、自然環境に触れることができたりと、ここ悪石島でしか出来ない経験を積むことができた。

今まで、この2年間半僕を支えてきて下さり、本当にありがとうございました!!

岩下 明日香（小宝島） 小学6年生



私は、4月から中学生になります。そこで中学生に向けて、3つの目標を立てることにしました。

1つ目は、「規則正しい生活を送る」です。去年は早寝・早起きがあまり出来なかったのが、新学期からは早寝・早起きを徹底して、健康に過ごしていきたいです。

2つ目は、「人の話をしっかり聞いて覚える」です。話を聞くことが苦手で、いつもすぐ忘れることが多かったのが、授業中や行事など大切なことは、しっかり聞いて覚えるようにしたいです。

3つ目は、「やるべきことを確実にする」です。宿題や手伝いなどやるべきことをしっかりしたいです。中学生になったら、兄は鹿児島に行くので、一人でしないといけないことが増えます。だから、宿題は早めに終わらせて手伝いなども頑張りたいです。

中学生になったらどうなるか少し不安ですが、楽しみにも感じます。年下のお手本となれるように頑張りたいです。新しく山海留学生もやってくると思うので、仲良くなって、助け合えるようにしたいです。



代船あおがしま丸運航！

フェリーとしま2の火災事故の件について3月14日から3月25日まで、八丈島・青ヶ島航路等を運航している伊豆諸島開発株式会社所有の船「あおがしま丸」が住民の移動を担ってくださいました。

今回の運航のため、八丈島から鹿児島までを約40時間かけて移動し、南埠頭へと入港しました。

それまでは、代船「フェリーみしま」や海上タクシーなどを利用し住民の移動を行っていましたが、波の影響などにより欠航や十分な住民の移動を行うことができておりませんでした。が、「あおがしま丸」の運航により、より多くの住民の移動を可能にすることができました。

今回の、フェリーとしま2の火災事故により、「あおがしま丸」だけでなく、「フェリーみしま」やその他貨物船など多くの協力を得て、貨物や住民の移送を行っております。多くの方々の協力及び住民の方々のご理解に感謝申し上げます。

「フェリーとしま2」は現在4月中旬頃の運航再開を目指しております。住民の方々また利用者の方々にはもうしばらくご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



各種団体又は個人様より寄付金を頂きました！

1月4日に一般寄附としてご寄附を頂きました。いただきました寄附金については、本村地域活性化の核となる、定住対策・産業振興・地域づくり等に幅広く活用させていただきます。

寄附者：西自動車株式会社 代表取締役社長 西 洋一郎 様

フェリーとしま2火災事故にかかる見舞金としてご寄付をいただきました。いただきました見舞金については、フェリーとしま2復旧のため有効に活用させていただきます。

寄附者：えらぶ年寄り組 山口 英昌 様

頻発する地震及びフェリーとしま2火災事故にかかる見舞金としてご寄付をいただきました。いただきました見舞金については、フェリーとしま2復旧のため有効に活用させていただきます。

寄附者：岩田 稔・サチエ 様

善意のともしび

故人の遺志を社会福祉事業のために活かしてほしいと、十島村社会福祉協議会へ寄附を頂きました。（五十音順）

・寄附者	・亡くなられた方
貴島 茂喜 様	貴島 トシ 様（中之島）
林 英昭 様	林 能廣 様（中之島）
日高 久志 様	日高 勝美 様（平島）

皆様の御厚意に感謝いたします。この紙面への掲載をもってご紹介に代えさせていただきます。
十島村社会福祉協議会

眞嶋 佳音（宝島） 小学6年生



私は、5年生の時に静岡から宝島に来ました。山海留学生として過ごした2年のあいだに、学習面と生活面で大きく成長することができました。これも全部、先生方や家族のみんな、島民のみなさんが支えてくれたからです。ありがとうございました。中学生になったら、まだ知らないことをたくさん学びながら、色々なことをあきらめずに挑戦し、保健師という将来の夢に向かって頑張っていきたいと思います。

眞嶋 友梨佳（宝島） 中学3年生



中学1年生の11月に宝島に来て約2年半宝島で過ごしました。

今年の文化祭でダンスの披露をしたことがとても心に残っています。限られた時間の中で一生懸命練習に取り組み、とても達成感がありました。

最初は知り合いの少ない中での生活で不安もたくさんありましたが、島民の方々や児童生徒、先生方が快く迎えてくださったおかげでとても楽しく宝島での生活を送ることができました。

これから、医療従事者になるという自分の夢を実現するために、高校でさらにたくさんを経験して、大学進学を目指して頑張っていきます。

これまでお世話になった方々への感謝を忘れず、優しく、人を助けられる強い人になりたいと思います。

本名 百竹（宝島） 小学6年生



小学校の卒業式を迎え、僕は胸が一杯です。この6年間はどきどきわくわくの毎日でした。とても楽しかったです。先生方や島の人たちに色々なことを教えてもらったからです。本当にありがとうございました。

中学校は、数学や技術、美術など気になる授業がたくさんあります。小学生よりも勉強が難しくなり、宿題も増えると思いますが、がんばりたいです。また、小学2年生から始めた、バードウォッチングや牛の世話もこれから続けていきたいです。

松下 真奈（宝島） 中学3年生



4年間宝島で過ごしました。

中学生になり、児童生徒副会長を務めたり、修学旅行で他島の生徒と交流したりたくさんの思い出ができました。

宝島での山海留学生を通して「人は一人で生きていくことなんてできない」ということを学びました。私たちはいつでも、どこかで、誰かに支えられてきたのだということが今はよく分かります。3年間なんて長い人生のうちで一瞬かもしれませんが、宝島で過ごせたことは一生忘れません。

これから夢と希望と勇気を胸に自分の足で自分の道を探し、進んでいこうと思います。

これからも、自分らしく頑張ってください！

新規採用職員を紹介します！



中之島 看護師 小野 智実

2月1日付で、看護師として採用された小野 智実（さとみ）です。福岡県出身、60歳です。

中之島へき地診療所で勤務します。

皆さんの健康と幸福な暮らしのお役に立ちたいです。

十島村防災会議を開催しました！

令和6年2月26日（月）に令和5年度十島村防災会議を開催しました。

会議では、主に諏訪之瀬島の噴火警戒レベルに対応した規制範囲の見直しについて協議を行いました。

諏訪之瀬島の噴火警戒レベルに対応した規制範囲は平成19年12月1日からの運用開始以降、見直しをされておらず、実情に合った見直しが必要であるとの指摘を受けておりました。

今回、鹿児島地方気象台の協力のもと、変更を行っております。

新しい警戒範囲につきましては左記にて記載し、変更後の地域防災計画は村ホームページでも掲載予定ですのでご確認ください。

総務課 消防係よりお知らせです！



▲変更になる予定の警戒範囲図

◀防災会議の様子

災害や気象警報などをメールから受け取れます！

十島村では、ご希望の方へ災害や気象情報に関する情報など、防災に役立つ情報をメール配信サービスにて提供しております。

スマートフォンや携帯電話などで情報を受け取ることが可能ですので、ぜひご登録ください。

メール配信サービス登録方法

登録したい方は、下記のメールアドレスに空メールを送信するか、右記のQRコードを読み取り空メールを送信してください。

bousai.toshima-vil@raidan2.ktaiwork.jp



十島村公式 LINE 始めます！

令和6年4月1日より十島村公式ラインの運用を始めております。

防災無線での内容をはじめ、上記の防災情報を公式LINEにて受け取れるようになっております。

十島村の友だち登録方法 (LINE)



利用登録がお済みの方は、ログインして次のいずれかの方法で友だち登録してください！

- ・ID検索で「@tokara」で検索し、「友だちに追加」ボタンを押してください。
- ・スマートフォンなどで以下のQRコード（友だち追加用）を読み込んでください。

航空便の運航日が増えました！

鹿児島ー諏訪之瀬島間を運航している航空便が令和6年2月28日（水）より、週2回の運航から週3回へ増便しています。

【運航日】

毎週火曜日・水曜日・金曜日 ※予約があった場合のみ運航
鹿児島空港 9時30分発 ↓ 諏訪之瀬島 11時着
諏訪之瀬島 11時30分発 ↓ 鹿児島空港 13時着

【予約方法】

- ・ご予約の際は必須事項をお電話等で新日本航空までご連絡ください。
- ・ご予約の受付は運航日の1か月前より開始します。
- ・ご予約の締め切りは、運航日前日のお昼12時です。

※必須事項

- ・搭乗希望日及び飛行区間
- ・ご搭乗者様のお名前、性別、生年月日、ご住所、電話番号（携帯優先）
- ・体重及びお荷物の重量 ※お荷物の大きさや重さには制限があります
- ・緊急連絡先
- ・事前振込が必要となります。

【ご利用料金】

通常料金（一般） 片道6万円（お一人様・税込み）
島民割引料金 片道1万8000円（お一人様・税込み）

【ご予約・お問い合わせ先】

新日本航空株式会社 0995-58-2211



春の全国交通安全運動について

令和6年4月6日（土）～15日（月）は令和6年春の全国交通安全運動が実施されます。交通安全運動について、実施期間や概要は以下のとおりです。

【目的】

本運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

- 運動期間 令和6年4月6日（土）～15日（月）までの10日間
- 交通事故死ゼロを目指す日 令和6年4月10日（水）

【交通安全運動の重点】

- ①こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
 - ②歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
 - ③自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守
- ★交通安全運動期間以外でも交通ルールを遵守し、安全運転をこころがけましょう！



テレビアニメ **オーイ! とんぼ** 放送開始!

トカラ列島で育った少女「とんぼ」がゴルフで世界をめざす、週刊ゴルフダイジェストで好評連載中の「オーイ! とんぼ」がアニメ化され、4月からテレビ放送が開始されます。

「オーイ! とんぼ」は現在 48 巻まで刊行され、シリーズ累計発行部数が 170 万部を超えている大人気ゴルフマンガです。

作品紹介

トカラ列島の「火之島」の中学校に通う主人公の大井とんぼは、ある日、島にやってきた元プロゴルファーの五十嵐と出会います。

五十嵐に才能を見出されたとんぼが、島の大自然の中で磨かれたゴルフの腕で、同世代のライバルたちと競いながら世界へと羽ばたいていくというストーリーです。

作品の舞台となっている火之島は中之島がモデルになっていて、中之島の景色もたくさん登場します。(※ゴルフ場は実在しません)

放送日時

地上波 テレビ東京系列

2024 年 4 月 6 日 (土) 毎週土曜日 10 時 00 分から

鹿児島読売テレビ

2024 年 4 月 18 日 (木) 毎週木曜日 26 時 07 分から

BS 放送 BS テレ東

2024 年 4 月 8 日 (月) 毎週月曜日 24 時 30 分から

番組公式ホームページ <https://tonbo-anime.com/>

©かわさき健・古沢優／オーイ! とんぼ製作委員会

©かわさき健・古沢優／ゴルフダイジェスト社



感謝状を贈呈しました!

令和6年3月25日に十島村役場会議室にて、今年度末に京都大学火山活動センターを退官される井口先生へ感謝状を贈呈しました。井口先生は、昭和56年に京都大学防災研究所桜島観測所、現在の火山活動研究センターに助手として赴任し、準教授を経て、平成24年から教授になられ、火山活動研究センター長に就任されております。

これまでに、平成28年10月には「桜島を拠点とした火山の観測や研究、防災活動」において多大な貢献をしてきたとして、「第49回 MBC賞」を受賞したほか、令和元年5月には、桜島の研究で、マグマの圧力と噴火の関係を実証し、予知の精度を向上させ、火山学の発展に大きく貢献したとして、火山研究者にとって最高の賞といわれる「日本火山学会賞」を受賞されました。

十島村では、平成元年より諏訪之瀬島の御岳をはじめ、口之島、中之島の火山活動の観測に尽力していただきました。

また、十島村防災会議の委員として10年以上地域防災計画の作成及び実施の推進に務めていただき、十島村の防災対策の発展と村民の生活の安心安全に貢献してくださりました。

長い間十島村の安心安全に尽力くださりありがとうございました。



令和6年度採用の予備自衛官補を募集しています。

予備自衛官補とは……

一般の社会人や学生といった自衛官未経験者を「予備自衛官補」として公募・採用し、教育訓練終了後、「予備自衛官」として任用する制度です。



試験の概要	一般公募	技能公募
採用対象	自衛官未経験者（自衛官であった期間が1年未満の者も含む）	
採用年齢	18歳以上52歳未満	18歳以上で、保有する技能に応じ53歳～55歳未満
試験概要	■共通：口述試験、適正試験、身体検査 ■一般：教養試験、作文 ■技能：小論文	
受付期間	■第1回：1月22日～4月11日	■第2回：6月1日～9月19日
試験期日	■第1回：4月6日～21日	■第2回：9月21日～10月7日
合格発表	■第1回：5月29日	■第2回：11月7日

※第1回で採用予定数に達した場合、第2回は実施しない場合があります。

◆ 問合せ先：自衛隊鹿児島地方協力本部 鹿児島募集案内所
☎099-251-7802 (FAX兼用)
：十島村役場 総務課
☎099-222-2101



- 畜産業：畜産基盤再編総合整備事業を活用し、安全な母牛管理体制と共に自給飼料の確保と商品性の高い子牛の出荷を目指す
- 林業：林道事業については、災害防止と森林の維持管理に努め、環境保護や自然環境を重視した事業を推進
- 水産業：民間企業と連携した水産加工技術・商品開発（6次産業化）など、基幹産業として育成する
- 商工業：加工品などの特産品を積極的に開発・販売し、収入の確保に努める
- 観光：十島村ならではの観光における価値観を創りあげる

大綱 4 定住促進

- 定住促進：UI ターン者の受け入れ対策に引き続き取り組むとともに、テレワーク移住へと繋げるためにワーケーションの受け入れを促進

大綱 5 教育・文化

- 教育：学校施設や教員住宅維持のため、補修整備に努める
- 背要害学習・交流：文化財保護対策として地域の文化財の収集を図るとともに、郷土教育の充実を図る

大綱 6 自治・行財政運営

- 情報公開：行政の保有する情報の適正な管理・保存を進める。
- 自治・コミュニティ・地域づくり：地域の共生・協働を推進し、地域活動を支えるリーダーなどの人材育成や幅広い世代が気軽に参加できる環境づくりを推進
- 行政改革：「地域住民への効率的で安定した行政サービスの提供」を行うために「行政組織の効率化と経費抑制」を推進
- 庁舎移転：本庁舎の在り方検討会において決定したことに沿って進める
- 職員の人材育成：全体の奉仕者としての使命感と勤労意欲のある職員を育成

大綱 7 デジタル化の推進

- デジタル化の推進：行政手続きの簡素化・デジタル化を推進
- 暮らしと産業のデジタル化：医療や防災、キャッシュレス決済、スマート農業や観光資源の活用など、暮らし、産業に関するデジタル化を推進
- 行政のデジタル化：マイナンバーによる行政手続きの簡素化・効率化などを推進
- データの利活用促進：行政におけるデータの分析やこれに基づいた政策立案等の人材の育成等を推進
- デジタル推進基盤の強化：光ファイバー等の情報通信環境の安定的な運用の確保を図る。
- デジタル人材の活用・確保・育成：リモートワークなどによる副業・兼業人材や、村内のデジタル化を伴走支援できるデジタル人材の確保を推進

大綱 8 再生可能エネルギー

- 再生可能エネルギーの導入：再生可能エネルギーの普及啓発、導入を促進

第 6 次十島村総合振興計画について

1, 計画について

第 6 次十島村総合振興計画は、村政の基本的な計画であり、事業実施計画の基礎となる本村の最上位計画です。新たに人材育成、デジタル関係、再生可能エネルギー等の項目を加えています。

2, 計画期間

令和 6 年度から令和 15 年度までの 10 年間

3, 地域の将来像

「7 つの色で つながる未来」

「7 つの色」は有人 7 島の歴史、文化、風土の特色を、「つながる未来」は、各島の特色が虹のように未来への懸け橋になることをイメージしています。人の繋がり、歴史・文化の継承、デジタル技術での交流など、様々な「つながり」を育て、より良い未来を後世に引き継ぐことを目指します。

4, 基本計画（各基本方向から抜粋）

大綱 1 健康・福祉

- 保健衛生：疾病の早期発見、治療に努め、一次予防に重点をおいた健康づくりを推進
- 医療：医療従事者の確保・救急医療・遠隔医療の充実を図る
- 国民健康保険：医療費の抑制に努め、適正な保険税率の改正・徴収率の向上に務める
- 障害福祉：本村の障がい者の 8 割が 65 歳以上の高齢者であり、介護予防・介護施設とも連動し支援施策を進め、その生活の向上に努める
- 高齢者福祉・介護保険：地域包括ケアシステム、包括支援センターの体制強化と介護予防の推進を図る

大綱 2 消防防災・生活環境

- 消防防災：防災マップの配布、実施的な防災訓練、防災教室を実施し住民の防災意識の高揚を図る
- 交通安全：交通安全施設等の計画的な整備・更新及び道路施設の補修、老朽化対策等を進めるとともに道路近隣の枯松等の危険木の伐採を行う
- 交通体系：定期航路の経営の合理化、効率化を図るとともに港湾の整備を図り、安定した交通体系の確保に努める
- 情報通信：本土との情報格差が生じぬよう、適切な施設管理・技術の導入に努める
- 水道：公営企業特別会計に移行することで、適切な料金の基、水道の安全供給に努める
- 住環境：負担が軽減された廃棄物の収集処理のしくみ等の構築を目指す
- 自然保護：生態系や環境に配慮した施策を推進

大綱 3 産業振興

- 土地利用：十島村農業振興地域整備計画に基づき農地の流動化を図る
- 農業：優良農地の確保・流動化や基盤整備を行い、生産性の高い農業を推進

1. 高齢者の自殺の現状と特徴

3. 自殺を防ぐために私たちができること

いつもと違う様子に気づいたら、勇気を出して声をかけて下さい。こちらから声をかけて初めて悩みを話すことは少なくありません。まずは相手の気持ちに寄り添ってじっくり聴くことがポイントです。

また、「つらい状況では死にたいと考える人もいますが、あなたは死にたい気持ちはありませんか？」などと死にたい気持ちの有無を確認することが自殺の危険性を知るために必要です。尚、死にたい気持ちの有無を確認することで自殺の危険性が高まることはなく、むしろ誰にも話せない状況のほうが危険です。もし「死にたい」と打ち明けたら、まずは自分自身の気持ちを落ち着かせることが必要です。感情的になつて叱ったり、自殺の是非を言い争ったり、安易に励ましたり、話をそらしたりせず、死にたいほどつらい状況に耐えてきたことを労い、勇気を出して「死にたい」と打ち明けたことに感謝を伝えて下さい。そのとき、「他の人には秘密にして」と言われても約束せず、相手を心配していること、死にたいほどつらい状況をみんなで解決する方法を考えたいことを伝え、自分ひとりだけで抱え込まず、家族や相談機関・医療機関の専門職と共に対応を考えるようにして下さい。もし、自殺の危険性が高いと思ったら、ひとりにせず安全を確保し、周囲の人と協力して対応して下さい。各機関につないだ後も本人を温かく見守り、孤独感を軽減する働きかけが自殺予防に有効です。

最後になりますが、私たちひとりひとりが自殺を防ぐためにできることを行い、誰も自殺に追い込まれることのない社会が実現することを願っております。

精神保健指定医・鹿児島県精神保健福祉センター所長

春日井 基文



令和 6 年 4 月より自動車検査における自動車航送運賃の負担を 100% 助成することにより、住民生活を経済的に支援するとともに、定住の促進および地域の活性化を目的とします。



島民（十島村に住民登録がある方）
村内に軽自動車税を納税している法人（当該軽自動車のみ）

(今年度の4月1日以降に車検のため航送した) 車検義務のある自動車
住民・法人を問わず、軽自動車は自動車検査証の使用本拠地が「鹿児島鹿児島郡十島村～」の車
両に限ります。(村に軽自動車税を納税している車両のみ)

新規購入・修理・買い替え・譲渡・廃車等の車検目的以外の航送運賃については対象外

十島村内各港から鹿児島本港または名瀬港間の航路
ただし、十島村内各港発着の定期船往復に限る。



- ・十島村自動車航送運賃助成金交付申請書兼同意書（出張所にて配布）
- ・その他必要な書類※（１）～（３）は必須です。

- (1) 自動車検査証または自動車検査証記録事項の写し（検査後）
 - (2) 自動車運転免許証の写し（表面と現住所が異なる場合は両面）
 - (3) 自動車航送申込書兼航送券の写し（往復分）
 - (4) 助成金の受取口座を確認できる書類の写し※登録済みの口座の場合は不要です。
（基本的には本人名義の通帳またはキャッシュカード）
 - (5) （代理人による申請の場合）代理人の本人確認できる書類の写し
 - (6) （リース契約車両の場合）契約書の写し
- 航送運賃が契約内容に含まれている場合は、今回の助成の対象外になります。

復路の海上輸送をした日の翌月から 3 か月以内
又は復路の海上輸送をした翌年度の 4 月 10 日

※島に戻ってきた日を基準日としますので、4月以降に戻ってきた場合は翌年度扱いになります。

申請期限がありますので、余裕をもって車検に出していただきますようお願いいたします

※申請内容等に偽りがあった場合や助成金の交付対象者及びその世帯員に村税及び公共料金等の滞納等が判明した場合は、交付決定前後に関わらず、助成金の全部若しくは一部の取り消しならびに返還義務が発生します。

担当課 十島村役場 総務課 デジタル政策室

子育て支援 拠点施設 各園の活動

宝島 子育て広場
いまさら園
サイコー！



↑ 口之島 くちっこ園 みへんな仲良し！



↑ 中之島 ほしのご園 よ～！先生に負けないゾ



↑ 諏訪之瀬島 すわっこ園 お寿司作り



↑ 平島 たいらっこ園 ハイ！ポーズ



↑ 恵石島 のびっこ園 遊具のおそうじと点検



↑ 小宝島 こだから園 一緒に遊ぶって楽しいね

～十島村子育て世代包括支援センターからのお知らせ～



平成9年度～平成19年度生まれの女性の方で HPV ワクチン接種がまだお済でない方は、「キャッチアップ接種」が受けられます。

接種希望者は、住民課子ども係（099-222-2101）へ、お知らせ願います。

HPV ワクチンの「キャッチアップ接種」について詳しく知りたい方は厚生労働省ホームページをご覧ください。



十島村包括支援センターからのお知らせ～介護保険について～

介護保険制度は、高齢化や核家族化の進行、介護離職問題などを背景に、介護を社会全体で支えることを目的として 2000 年に創設されました。介護保険は3年ごとに制度改正が行われます。現在、十島村高齢者福祉計画及び第9期介護保険計画を策定しています。

令和6年度から令和8年度までの事業計画になります。

今回は介護保険のしくみとサービス利用までの手続きについてお知らせします。

介護保険の加入者（被保険者）

介護保険の被保険者は、65歳以上の方（第1号被保険者）と、40歳から64歳までの医療保険加入者（第2号被保険者）に分けられます。第1号被保険者は、原因を問わずに要介護認定または要支援認定を受けたときに介護サービスを受けることができます。また第2号被保険者は、加齢に伴う疾病（特定疾病※）が原因で要介護（要支援）認定を受けたときに介護サービスを受けることができます。

	65歳以上の方（第1号被保険者）	40歳から64歳の方（第2号被保険者）
対象者	65歳以上の方 	40歳以上65歳未満の健保組合、全国健康保険協会、国保などの医療保険加入者 （40歳になれば自動的に資格を取得し、65歳になると自動的に第1号被保険者に切り替わります） 
受給要件	・要介護状態 ・要支援状態	・要介護（要支援）状態が、老化に起因する疾病（特定疾病※）による場合に限定。
保険料の徴収方法	・市町村と特別区が徴収（原則、年金からの天引き） ・65歳になった月から徴収開始	・医療保険料と一体的に徴収（健康保険加入者は、原則、事業主が1/2を負担） ・40歳になった月から徴収開始

出典 2020.11 月作成 厚生労働省資料 介護保険について

介護保険サービスを利用する手順

1 相談する

十島村役場住民課介護係又は各島診療所に相談しましょう

2 申請する

必要書類：要介護・要支援認定申請書
介護保険被保険者証
医療保険被保険者証

3 介護認定が行われます

- ・認定調査員が訪問し、心身の状況について聞き取りを行います
- ・主治医に心身の状況について意見書を作成してもらいます
- ・認定調査と主治医の意見書をもとに審査・判定が行われます

4 認定結果通知

非該当、要支援1～2、要介護1～5の結果が通知されます

5 ケアプラン作成

ケアマネージャーに依頼して計画書を作成してもらいます

6 サービス利用開始

福祉用具の購入・レンタル
住宅改修
在宅介護サービス
施設介護サービス



「フェリーとしま2」は、昨年12月29日、航行中の機関室火災の発生により、航行不能な状態となり、現在は、鹿児島港南埠頭において修繕をおこなっているところです。運航再開の目途は、4月中旬の予定です。

運休中の代替輸送手段については、代船運航、高速船「ななしま2」の運航、貨物船のチャーター運航などを組み合わせ、輸送をせざるをえないところです。

ご利用のお客様、村民の皆様には、運航休止により、大変ご迷惑をおかけいたします。「フェリーとしま2」の1日でも早い運航再開に向け、努めてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

なお、屋久島の高速船並びに奄美航路2等運賃相当額につきましては、村が負担いたします。高速船「ななしま2」を利用される際は下記をご覧ください。

【受付窓口】

・高速船ななしま2 予約専用窓口

※十島村役場及び中川運輸（株）海岸事務所では対応できませんので、ご注意ください。

・受付時間 平日 9:00 ～ 16:00（土日祝は除く）

・電話番号 予約専用 080-8820-0365（この番号以外での予約の受付はできません。）

※時間帯によっては、繋がりにくくなる恐れがあります。ご了承ください。

・その他 予約の受付はお申し込みの先着順とさせていただきます。

各便の乗船予約については、出港日2日前迄となります。

（出港日2日前が土曜、日曜、祝日の場合は、直前の平日16時迄）



詳しくは右記よりホームページをご覧ください。

広報としまへの広告掲載募！

●広告の規格・掲載料（すべて消費税別）

縦 13.0cm × 横 8.5cm 月額 10,000 円

縦 13.0cm × 横 17.0cm 月額 15,000 円

A4 サイズ 1 頁 月額 30,000 円

●広告掲載の申し込み

広報誌広告掲載申込書（第1号様式）に広告案を添えて総務課にご提出ください。

編集／発行：十島村役場 総務課 広報広聴係



〒892-0822 鹿児島市泉町 14-15

TEL:099-222-2101

よろしければ皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

十島村の人口・世帯数 令和6年3月1日現在

島名	男性	女性	人口	世帯
口之島	62	52	114	69
中之島	79	52	131	82
諏訪之瀬島	47	36	83	39
平島	44	32	76	45
悪石島	46	36	82	39
小宝島	34	26	60	32
宝島	55	65	120	70
合計	367	299	666	376